

2021 年度事業報告書

(令和 3 年 4 月 1 日から令和 4 年 3 月 31 日まで)

特定非営利活動法人 安全と安心 心のまなびば

1 事業実施の成果

前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響は大きく、「まん延防止対策」等が発出される中、交通大学・交通安全教室等、人を集めての教育及びセミナーの開催については、開催形態など考慮しながら検討しましたが、開催には至りませんでした。

そのような状況下での活動は色々な制約を強いられました。前年度の『サルコペニア予防体操』に続いて、加齢に伴い目の機能が低下する「アイフレイル」に焦点をあてた『高齢者の運転能力の衰退と眼科的予防対策』の DVD を 2022 年 2 月に完成させました。視機能による自動車運転能力の低下(ドライビング・アイフレイル)を予防する、ビジョントレーニングを DVD に収録し、普及活動を始めました。

『サルコペニア予防体操』は、2021 年 11 月に山陽新聞朝刊で、12 月には山陽放送 RSK ラジオで紹介され大きな反響を呼びました。

その他の事業についても、可能な限りの調査研究及び開発事業を展開し、実効ある活動に供しました。以下に主な実施事業について報告します。

①交通安全教育研修・セミナー事業について

○交通教育セミナー「交通大学」

新型コロナウイルス感染症の影響で開催中止。

オンライン形式での開催等を検討しましたが、開催には至りませんでした。

○交通マナー授業(詳細は後述)

新型コロナウイルス感染症の影響で、予定が二転三転しましたが、協力小学校の支援により以下の 2 校については実施にこぎつけました。実施校においては、交通マナー授業の評価は高く、継続事業として定着してきたと認識します。

朝日塾小 4 年目(4 年生 3 クラス) 21 年 7 月、10 月

岡南小 4 年目(5 年生 4 年生各 2 クラス)21 年 10 月、11 月(前年未実施の為 2 学年同時実施)

清輝小 実施に至らず中止

○教育講演(金光理事長) 2021 年 11 月

「通園及び通学児童の交通安全対策」—総社市における交通事故を通して—
岡山市教育委員会安全教育部門

②交通安全広報事業

○交通安全教育書籍出版『心のまなびから考える交通安全教育』シンク出版(金光義弘著)

関係各位に謹呈、送付。

○山陽新聞 21 年 11 月 23 日朝刊『サルコペニア予防体操』紹介記事掲載

掲載当日から電話で DVD の希望者多数。約 80 人に DVD 送付。

○山陽放送 RSK ラジオ 21 年 12 月 23 日『体にいい話し』の中でサルコペニア予防体操を紹介

生放送中での案内であったが、8 名希望者があり DVD 送付。

○ホームページ追加更新

- ・ドライビングアイフレイル予防「ビジョントレーニング」の紹介
- ・安全運転寿命の延伸運動「サルコペニア予防体操」の紹介
- ・安全運転カフェ実施実績紹介

③交通安全の推進に係る調査研究事業について

○ドラレコを用いたアドバイスツールの開発

3年目においてもコロナ禍の影響は尾を引いており、本来、各種団体組織の特徴に応じたアプローチ法の開発と組織・団体への普及拡大を図る予定だったものが、2019年度の試行において十分と言えるデータ量に達していなかったことから、拡大方策の検討と並行して3年目も継続してデータ収集に注力せざるを得ない状況となりました。しかし、2021年度もコロナ禍により、緊急事態宣言の発出や他者との接触を極力減らすなどの対策から、本プログラムへの協力を得づらいつながり続きました。そうしたなかでも、2021年4月から2022年3月にかけて、17団体計20人から参加協力を得ることができました。3年間にわたる実証実験の結果(45名分のデータ)から、安全運転カフェの実施により、「無意識運転の意識化と自発的安全運転意識の喚起による安全運転行動の定着」という効果が観測されました。反面、当事業の振り返りにおいては、導入拡大のためのマーケティング戦略の構築と実施に至らなかったことを反省し、今後の改善策に活かしたいと考えております。

○安全運転寿命の延伸運動『サルコペニア予防体操』普及と効果検証

前事業年度に完成した『サルコペニア予防体操』の普及活動を行う中、21年11月23日山陽新聞朝刊に、体操の紹介とDVDの無料配布の紹介が掲載され、当日朝から問い合わせの電話が殺到しました。また、12月23日山陽放送RSKラジオ『体にいい話し』に出演し、体操の紹介をさせていただきました。新聞とラジオからのDVD希望者には、無料で送付しましたが、約90人の希望者がありました。特に高齢者の健康への関心の高さと、生活環境に基づく車の必要性が背景にあると感じます。初版のDVD印刷枚数は200枚でしたが、増刷を繰り返し本年度末には800枚に達しました。

○アイフレイル・高齢者の運転能力の衰退と眼科的予防対策の創作と普及

「アイフレイル」は視機能のフレイルのことで、加齢に伴い身体と同様に眼の機能が低下し始める状態をいいます。自動車運転の継続を困難にしたり、交通事故誘発に関する重要な問題です。この問題に着目し、本NPO法人理事の眼科医を中心に「ドライビングアイフレイル」予防対策である「ビジョントレーニング」を考案し、DVDに収録しました。生涯にわたる快適な日常生活の維持と、目の健康寿命の延伸を目的とし、アイフレイル予防に取り組んでいただく為に、普及活動を始めました。初版のDVD印刷枚数は400枚です。

ビジョントレーニングの内容

- ①遠くと近くを交代で見る訓練
- ②視線を内側に寄せたり戻したり
- ③ゆっくりと滑らかな眼球運動訓練
- ④速い、急速な眼球運動訓練
- ⑤ピント合わせ、内寄せと外寄せ、滑らかな運動を同時にトレーニング
- ⑥視野拡大トレーニング
- ⑦指さしトレーニング
- ※眼球疲労の癒し方

○SDC『SAFETYドライブチェッカー』の開発

アクセルとブレーキの踏み違えの事故が多いといわれています。高齢者に限らず、アクセル・ブレーキの踏みかえが適切にできるか。突発的な事象に対して正確にすばやく反応できるか。反応は速いのか、遅いのか。等の体験とチェックができる『SAFETYドライブチェッカー』を開発しました。交通安全教育の機材として、様々な場面での活用が期待されます。

①アクセル・ブレーキペダル踏みかえチェック

- ・踏みかえ練習
- ・危険回避(反応測定)
- ・段差乗り越え

②夜間の視認性体験シミュレーション

- ・視認性体験
- ・ヘッドライトの効果体験

③集合教育用教材(オプション)

・反射材、ヘッドライトの効果 ・明順応、暗順応体験 ・確認時間の重要性 ・蒸発現象

④ケーススタディ

・横断歩道(1) ・横断歩道(2) ・バス停 ・先行車の急停止

○飲酒実験 ―新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止―

○研究発表 2021年7月

・日本交通心理学会地方研究発表会(天野研究員・金光理事長連名)

―ドラレコを用いた「自発的気づき」による安全運転態度の意識化―

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に関する事項

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(円)
①交通安全教育研修、セミナー事業	交通安全教育セミナー「交通大学」開催	実施無し				0
①交通安全教育研修、セミナー事業	交通マナー授業	令和3年 1.7月6日 10月20日 2.10月19日 11月9日	1.朝日塾小学校 2.岡山市立岡南小学校	5人	朝日塾小4年3クラス25人×2回 岡南小4年2クラス35人×2回 5年2クラス35人×2回	376,210
①交通安全教育研修、セミナー事業	交通安全教室	実施無し				0
②交通安全広報事業	メディアの取材等、及び交通安全関連誌への投稿等による広報事業	随時	安全と安心 心のまなびば	5人	一般市民 不特定多数	0
③交通安全の推進に係る調査、研究事業	交通安全教育の方策開発と普及活動(ドラレコを用いたアドバイスツールの開発)	令和3年4月～ 令和4年3月	安全と安心 心のまなびば	5人	一般市民 協力者20人	1,983,883
③交通安全の推進に係る調査、研究事業	安全運転寿命の延伸運動『サルコペニア予防体操』の創作と普及活動	令和3年4月～ 令和4年3月	安全と安心 心のまなびば	5人	一般市民 不特定多数	969,347

③交通安全の推進に係る調査、研究事業	アイフレイルの眼科的予防対策 DVD の創作と普及活動	令和3年8月～ 令和4年3月	安全と安心 心のまなびば	5人	一般市民 不特定多数	1,329,210
③交通安全の推進に係る調査、研究事業	SAFETYドライブチェッカー(アクセル・ブレーキ踏みかえチェック)ソフトウェア開発と普及活動	令和3年4月～ 令和4年3月	安全と安心 心のまなびば	5人	一般市民 不特定多数	1,650,220
③交通安全の推進に係る調査、研究事業	第14回飲酒実験	実施無し				0
④交通問題カウンセリング事業	交通行政関係及び事業所からの要請に随時対応	随時	安全と安心 心のまなびば	2人	担当行政責任者 及び事業主 不特定多数	0

合計 6,308,870